

新潟県内港の最近の状況

平成29年5月 新潟県交通政策局港湾振興課

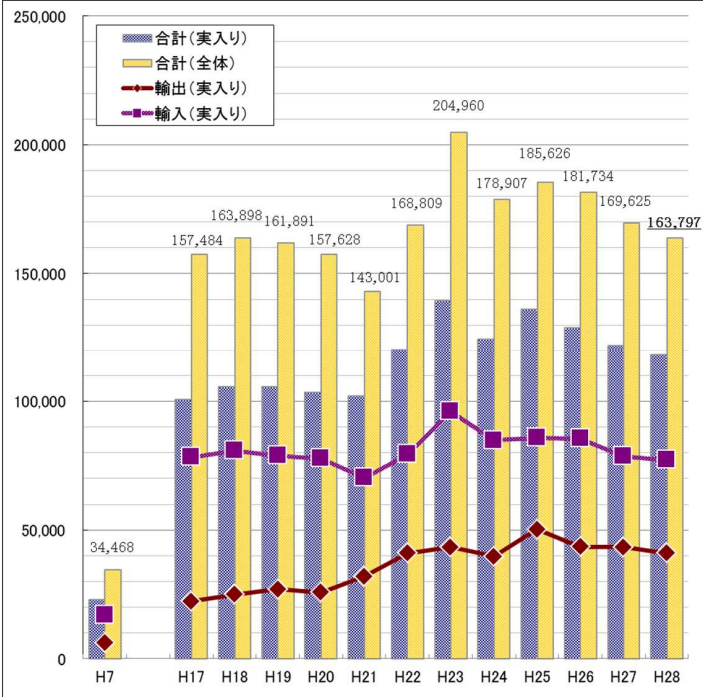
1. 新潟県内港の外貿コンテナ貨物取扱量

【新潟港】総数で約16万4千TEUとなり、本州日本海側で最大の取扱量。

【直江津港】総数で約2万9千TEUとなり、引き続き堅調に推移。

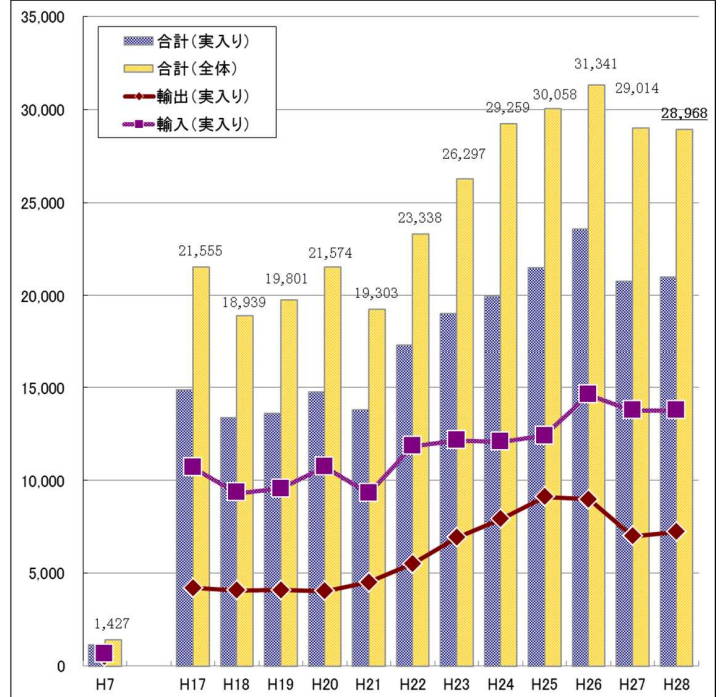
■ 新潟港のコンテナ取扱量の推移(速報値)

TEU ※新潟県公表



■ 直江津港のコンテナ取扱量の推移(速報値)

TEU ※新潟県公表

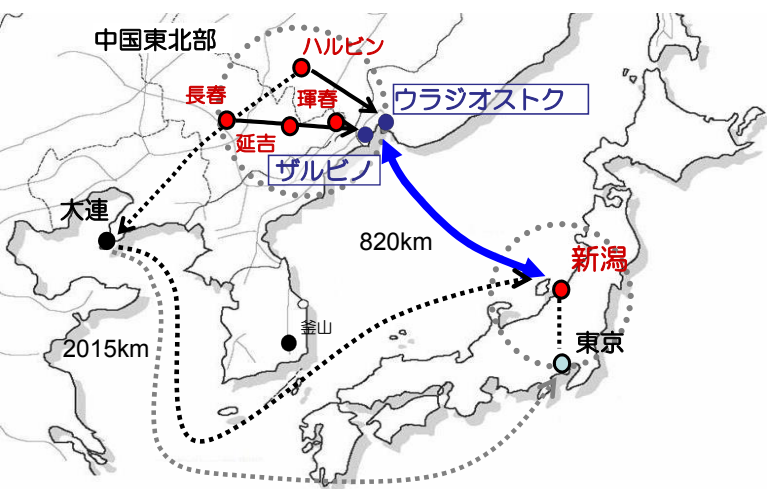


2. 日本海横断航路

◎新潟港とロシア・ザルビノ港、ウラジオストク港を直接結ぶ航路を検討

⇒現在利用できる輸送ルートと比べて輸送時間を短縮併せてコストの削減を実現

【航路のイメージ】



平成29年度
経済界等関係者のコンセンサス形成を図りながら、航路の今後のあり方を検討するとともに、中国・ロシアの政府・航路関係者等との協議を継続

◇中国東北部と新潟とのリードタイム

(2010年新潟県輸送社会実験結果)

【現在の物流ルート】

長春→大連港→新潟
【大連経由】9日



【新たなルート】

長春→ザルビノ→新潟
【ザルビノ経由】4日

◇新潟～ロシア極東：

現在の定期コンテナ航路との比較

【現在の物流ルート】

新潟→ウラジオストク
【釜山経由】7～14日



【新たな航路】

新潟→ウラジオストク
【直航】2日